

③ 改質アスファルトシート防水工事（トーチ機械的固定工法）

監督員	現場代理人	主任技術者

令和〇〇年度〇〇〇号 〇〇〇工事
〇〇〇建設株式会社

作業番号	作業区分	改質アスファルトシート防水工事（トーチ機械的固定工法）		3. 既存の災害防止対策	4. リスクの見積り			5. リスク低減措置案	6. 措置実施後のリスクの見積り			7. 対応措置		8. 備考
		1. 手順	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害（災害に至る過程「～より、～して」+「～になる」と記述する）		重 災 害 度 の 見 積 り	可 発 生 性 の 見 積 り	優 先 度 の 見 積 り		重 災 害 度 の 見 積 り	可 発 生 性 の 見 積 り	優 先 度 の 見 積 り	措 置 実 施 日	確 認 資 料	
1	使用材料のリスクアセスメントの確認	・教育の実施 ・SDSの理解確認	・取り扱い方法を間違えて災害が起こる ・保護具を使用しないで災害に遭う	・施工業者による教育	2~4	2~3	II	・化学物質のリスクアセスメント実施	2	2	II			
2	材料（重量物）の運搬ならびに保管	・シート類、製品缶、混和材などの運搬	・重量物を運搬して腰痛になる ・運搬中に重量物を落としたり転倒してケガをする	・台車、クレーンの活用 ・1本ずつ荷運びする ・安全靴を履く ・準備運動の実施	2~4	2~3	II	・腰痛対策ベルトの着用	2	2	II			
3	材料（危険物）の運搬ならびに保管	・溶剤系プライマー、接着剤、仕上塗料などの運搬	・火気により引火して火災になる ・こぼして環境に影響を及ぼす	・近くで火気を使わない ・密栓して運ぶ	2~4	2~3	II	・近くで火気を使わない ・規定回数以下の保管を実施 ・エマルジョン系への代替	2	2	II			
4	下地調整作業	・金コテ、ローラー、刷毛の使用 ・粉体と混和液との混合	・粉体を取り扱った中に吸引して体調不良になる ・攪拌機に接触してケガをする	・保護具（軍手、防護マスクなど）の着用	2	2	II	・調合作業方法の工夫 ・より有害成分の少ない材料への代替	1	2	I			
5	プライマーの塗布（溶剤タイプ）	・ローラー、刷毛の使用 ・材料の混合	・材料中の有機溶剤を吸入して体調不良などになる ・材料の直接吸入、接触によりカブレや体調不良になる ・跳ねた塗料が目に入り、目に異状が生じる	・保護具（軍手、防毒マスクなど）の着用	2~3	2~3	II	・有機ガス用防毒マスクの着用 ・水系、無溶剤系のプライマーへの代替 ・耐油機能付き手袋、保護メガネの着用	1~2	1~2	II			
5	プライマーの塗布（無溶剤・水系タイプ）	・ローラー、刷毛の使用 ・材料の混合	・材料の直接吸入、接触によりカブレや体調不良になる ・跳ねた塗料が目に入り、目に異状が生じる	・保護具（軍手、防護マスクなど）の着用	1~3	1~3	II	・揮発成分の少ない材料への代替 ・より有害成分の少ない材料への代替 ・保護メガネの着用	1~2	1~2	II			
6	シートの敷設・ディスク固定（プラグ・ビス・アンカーなど使用）	・シートの裁断、加工 ・振動ドリルの使用	・シート裁断時のカッターによりケガをする ・穿孔時の粉じん吸入により体調不良になる	・保護具（軍手、防護マスクなど）の着用	2	2	II	・刃物に強い軍手などの着用	1	1	I			
6	シートの敷設・ディスク固定（自動連続釘打機使用）	・シートの裁断、加工 ・自動連続釘打機の使用	・自動連続釘打機の暴発によりケガをする ・下地の破片が目に入り、目に異状が生じる ・シート裁断時のカッターによりケガをする	・保護具（軍手など）の着用	2	2	II	・保護メガネの着用 ・刃物に強い軍手などの着用 ・安全装置の取り付け	1	2	I			
7	トーチ用シートの張り付け	・シートの裁断、加工 ・トーチバーナーの使用	・材料との接触によりカブレなどを発症する ・シート裁断時のカッターによりケガをする ・トーチバーナー使用により火傷をする	・保護具（軍手など）の着用	3~4	4	III	・加工性に優れた材料への代替 ・刃物に強い軍手などの着用 ・炎に強い手袋・長袖作業着の着用	2	3	II			
8	端末金物の取り付け	・金物の裁断、加工	・金物裁断時のアルミの切粉が目や口に入り、ケガをする	・保護具（軍手など）の着用	2	2	I	・保護メガネの着用 ・皮膚の露出が少ない長袖作業着の着用	1	1	I			
9	端末シール処理	・シーリングガンを使用	・材料中の有機溶剤を吸入して体調不良などになる ・材料との接触によりカブレや体調不良になる	・保護具（軍手、防護マスクなど）の着用	2	2	I	・耐油機能付き手袋、保護メガネの着用 ・皮膚の露出が少ない長袖作業着の着用	1	1	I			
10	仕上塗料の塗布（溶剤タイプ）	・ウールローラー、刷毛の使用 ・材料の混合	・材料中の有機溶剤を吸入して体調不良などになる ・材料の直接吸入、接触によりカブレや体調不良になる ・跳ねた塗料が目に入り、目に異状が生じる	・保護具（軍手、防護マスクなど）の着用	2~3	2~3	II	・有機ガス用防毒マスクの着用 ・水系、無溶剤系の塗料への代替 ・耐油機能付き手袋、保護メガネの着用	1~2	1~2	II			
10	仕上塗料の塗布（水系タイプ）	・ウールローラー、刷毛の使用 ・材料の混合	・材料の直接吸入、接触によりカブレや体調不良になる ・攪拌機に接触してケガをする ・跳ねた塗料が目に入り、目に異状が生じる	・保護具（軍手、防護マスクなど）の着用	1~2	1~2	I	・揮発成分の少ない材料への代替 ・より有害成分の少ない材料への代替 ・保護メガネの着用	1~2	1~2	I			
11	廃棄物の処理	・皮スキの使用	・金属容器を加工する際にケガをする ・未硬化の材料との接触によりカブレや体調不良になる	・軍手、ヘルメットの着用	2	2	II	・耐油機能付き手袋の着用 ・皮膚の露出が少ない長袖作業着の着用 ・加工しやすい容器への代替	1	1	I			

リスクの見積りの凡例：●災害の重篤度 5=致命的 4=重大・後遺症 3=入院・長期離脱 2=通院・短期 1=けが程度  
 ●発生の可能性 5=極めて高い 4=高い 3=比較的高い 2=可能性があり 1=ほとんどない・可能性なし  
 ●優先度 III=直ちに解決すべき又は重大なリスクがある。 II=速やかにリスク低減措置を講ずる必要のあるリスクがある。 I=必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスク  
 注意1：リスク低減措置案は具体的に記載すること。（悪い例：滑らないように注意する。 良い例：滑り止め〇〇を使用する。）  
 注意2：対応措置の確認は、基本的には写真（1項目につき1枚）により確認する。写真で確認できない場合は、実施の記録等で確認する。  
 注意3：「措置実施後のリスクの見積り」まで記載したものを施工計画書へ添付する。「対応措置」は措置実施日に記入し、完成検査前に確認資料を添付の上、監督職員に提出する。